

# 令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年(1)学年

◎教科( 社会 )

<b>使用教科書</b>	東京書籍 新編 新しい社会 歴史・地理		
<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の地形的特色や気候について学習し、資料を基にまとめることができる。</li> <li>・世界の諸地域について、産業を中心に学習し、資料を基に関連付けを行うなどの技能を身につける。</li> <li>・人類誕生と古代国家の成立について学習し、社会の変化や文化の発達について理解する。</li> <li>・武家社会の成立とその移り変わりについて、各資料を通じて学習し、社会の変化と各事象の因果関係について理解する。</li> <li>・身につけた知識をもとに各社会科的事象の特徴を自分の言葉で説明する力を身につける。</li> </ul>		
<b>学習計画</b>	<b>前期</b>	4月 世界の姿 5月 世界各地の人々の生活と環境 宗教と文化 6月 アジア ヨーロッパ 7月 アフリカ 北アメリカ 9月 南アフリカ オセアニア	
	<b>後期</b>	10月 世界の古代文明と宗教のおこり 11月 日本列島の誕生と大陸との交流 古代国家の歩みと東アジア世界(奈良時代まで) 12月 平安遷都～国風文化 武士の台頭・院政 1月 鎌倉幕府の成立～元寇～鎌倉幕府の滅亡 2月 室町幕府の成立と南北朝の動乱 3月 室町幕府の産業文化の発達と応仁の乱	
<b>主な活動形態や使用教材など</b>	<p><b>【主な活動形態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉学習・・・教師と生徒一人ひとりが向かい合う形で授業をします。</li> <li>・少人数学習・・・4人、もしくは6人で意見を出し合ったり、分担して調べ学習をしたりします。</li> </ul> <p><b>【主な使用教材】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書・・・学校で配付された教科書。</li> <li>・ノート・・・B5 もしくは A4 サイズの大学ノート。(教科担任より指定されたもの。)</li> <li>・筆記用具・・・鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、色ペン</li> <li>・タブレット PC(資料集)・・・学校で配付されたPC。</li> </ul>		
<b>評価の観点別内容や評価の方法</b>	<b>観点</b>	<b>評価の内容</b>	<b>評価の方法</b>
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程を通じた知識・技能を習得することができるか。</li> <li>・他の学習でも活用できる程度に概念を理解したり、技能を習得したりできているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・記述(ノート、ワークシート)</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識、技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけることができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・タブレットによる提出</li> <li>・授業中の発表活動</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識、技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしているか。</li> <li>・時事問題への興味、関心を持ち、自分の意見を持つようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・記述(ノート、ワークシート)</li> <li>・タブレットによる提出</li> <li>・教師による行動観察</li> <li>・授業中の対話、発表活動</li> </ul>	
<b>学習についてのアドバイス</b>	<p><b>【授業では】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明を聞き、調べる時間には、教科書やPCを使って自ら進んで取り組めるようにしましょう。</li> <li>・話し合いをする場面では、自分の意見をしっかりと班員に伝えられるようにしましょう。また、周りの意見にもしっかりと耳を傾けましょう。</li> <li>・わからないときは教師や友人に聞くようにしましょう。</li> </ul> <p><b>【家庭では】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークでの学習に繰り返し取り組みましょう。自分でどんどん進めていきましょう。特にテスト前には最低限2回は問題に取り組めるようにしましょう。</li> <li>・e ライブラリも積極的に活用していきましょう。</li> </ul>		

